

人と人がつながり、人と自然が繋がる  
足下を見つめると、地域の力が見えてくる

たかしま

# 環の郷

の実現を目指して

地元で学ぶ“地元学” 地域に学び、まちづくりを考える

高島市が誕生してから初めての夏が終わろうとしています。1月に合併してから今日まで、市では今年度の本格的予算が6月定例議会で承認されるなど、いよいよ本腰を入れた新しい高島市づくりが始まりました。6つが1つになり5万6千人を擁する「市」となったスケールメリットと、町村、集落の良さを引き出し価値を生み出すスモールメリットを活かすにはどのようなまちづくりの仕掛けが必要なのでしょう。

今月号では、8月4日(木)に開催された「地域に学ぶまちづくり研修会」で提言された高島が持つ価値観と地元で学ぶ地元学の紹介と環の郷の具体的な実現に向けた市役所の組織の改編についてお知らせします。



結城 登美雄 氏



吉本 哲郎 氏



嘉田 由紀子 氏

8月4日(木)

「地域に学ぶまちづくり」  
まちづくり職員研修会



3者による対談が行われました。

市では、市民や市役所の職員が率先して地域の良さに気づき、高島にふさわしいまちづくりを始めることを目的に研修会を開催しました。講師には、民俗研究者であり2004年芸術選奨文部科学大臣賞(芸術振興部門)を受賞された結城登美雄氏と、地元学ネットワーク主宰者で熊本県水俣市役所職員の吉本哲郎氏を招き、一般市民約40名、京都精華大学生約50名を含む総勢200名が参加しました。

結城氏からは「まちづくりは、地域の力を引き出し持ち寄ること。このことで安心や安らぎが生まれる」、「地

域は家族の集まり。家族は希望と期待を持って生きている。これらを生かすまちづくりをするならその意向を聞くべき。」との講演を、また吉本氏からは「知っているつもりから、知らないことを知る」、「まずは自分が元気になるって、足下を見ること」などについて提言を受けました。また、最後に行われた京都精華大学嘉田由紀子教授を加えた3名による対談の中で「地域の課題への意識が薄くなると、そこに住む人でさえ、学者や行政にその判断を頼ってしまう。」などの意見をいただきました。

■住民意向聞き取り調査にご協力ありがとうございました。

市では、合併協議の中で樹立された新市建設計画を基軸としつつ、更に住民意見等を取り入れながら本年度中に高島市総合計画を策定する予定ですが、これに先立ち市民の皆さんとの対話によるまちづくりを進めていくことを目的に、住民意向聞き取り調査を実施しました。調査対象は3,000人、調査の方法は、市役所の職員約700人がご自宅にお伺いして聞き取りを行いました。参加した職員からは「対話による重みを感じた。その想いに応えたい。」などの意見ができました。ご協力ありがとうございました。(企画調整課)

## 実行力を持ち信頼される 市役所であるために市行政組織の 一部見直しを行いました。

「水と緑、人のいきかう高島市」を実現するための「環の郷」づくりを積極的に進めるとともに深刻化する子どもや家庭の問題についての相談・支援体制を強化するため市行政組織の見直しを行いました。

### 産業経済部を本庁に移転

「環の郷」づくりの大きな柱は、地域資源を活用して地域経済を活性化することであり、産業経済部はその中心となる部局です。一方、上水道や下水道事業の推進と円滑な事業管理を図るために、上下水道部と土木交通部の連携は不可欠です。そこで、それぞれの業務をより円滑に行うために、産業経済部が新旭本庁に、上下水道部が今津支所2階にそれぞれ移転しました。

### 【関連する部局の廃止と新設】

- ① 産業経済部の新旭分室を廃止しました。
- ② 今津支所内に産業振興課を新設しました。
- ③ 今津支所の上下水道課を廃止して上下水道部直轄としました。
- ④ 上下水道部の新旭分室を新設しました。

### 産業経済振興室を設置

本市の魅力ある文化や景観を活用して地域産業経済の振興を図るとともに、6次産業の創造や既存企業等への支援策を検討するため、産業経済部に「産業経済振興室」を設置しました。

今後、庁内の関係部署が横断的に連携を深め、一体となって市の魅力を発信するとともに、誘客のための施策を総合的に講じるため、当

室が中心となって助役を本部長とする庁内組織「高島営業本部」を設置していきます。

### 【9月1日からの新設・移転部署連絡先】

新市の部署	電話番号
総合防災課ダイヤルイン	25-8133
長寿福祉課・基幹型在宅介護支援センターダイヤルイン	25-8516
子ども家庭総務課	25-8136
子ども家庭相談課ダイヤルイン	25-8517
滞納整理室ダイヤルイン	25-8116
農林水産課ダイヤルイン	25-8511
田園整備課ダイヤルイン	25-8512
農業委員会事務局ダイヤルイン	25-8513
商工観光課ダイヤルイン	25-8514
産業経済振興室ダイヤルイン	25-8515
土木交通・上下水道分室(新旭)ダイヤルイン	25-8126
住宅監理課ダイヤルイン	22-0048
水道課(庶務係、工務係)ダイヤルイン	22-9037
水道課(業務係)ダイヤルイン	22-6838
下水道課(庶務係、事業係)ダイヤルイン	22-9011
下水道課(管理係)ダイヤルイン	22-6838
今津支所産業振興課ダイヤルイン	22-6834

※新設・移転部署および新たに直通番号ができた部署の連絡先です。  
※市役所各課の連絡先については、12ページをご覧ください。

### 子ども家庭相談課を設置

家庭や学校園、地域における子育てに関する相談および子育ての支援体制を強化するため、健康福祉部と教育委員会事務局の窓口をひとつにし、健康福祉部(福祉事務所内)に「子ども家庭相談課」を設置します。これにより、子どもの育ちや家庭が抱える課題に係わる相談・支援は当該を中心に行います。また、児童家庭課を子ども家庭総務課に名称変更しました。

### 滞納整理室を設置

高島市の抱える税等の滞納金は現在約9億円(平成17年10月現在)あります。このような税金や使用料等の滞納金の収納を積極的に推進するため、総務部に「滞納整理室」を設置しました。当室の運営は、グルー

### 住宅監理課を設置

市営住宅および市が所有する建築物の新築や維持管理を行なうにあたって、震災対策等について建築技術面より専門的見地から検討、点検する体制を強化するため土木交通部の土木課を分割して「住宅監理課」を設置しました。

### 今津教育分室を移転

今津教育分室の事務所を今津東コミュニティセンターに移転しました。(職員課)